

(平成29年度)第1回運営推進会議実施報告書

平成 30年 2月 22日

事業所名	大田区立德持高齢者在宅サービスセンター	サービスの種類	認知症対応型通所介護
電話番号	03 (5700) 0700		
開催日時	平成30年2月22日(木) 14:00 ~ 15:00		
開催場所	大田区池上6-40-3 大田区立德持高齢者在宅サービスセンター会議室		
出席者 7人	(内訳)		
	利用者	2名	
	利用者家族	1名	
	地域の代表	民生委員児童委員	1名
	区・地域包括支援センター	1名	
	その他	事業所職員 2名	
◆活動報告・活動計画 別紙			
◆活動報告・計画に対する評価 【家族】昨年の夏頃妻の認知症状が悪化し、夫婦崩壊の危機にケアマネジャーさんの紹介でデイサービスを利用する事が出来、最初は本人嫌がっていたが職員さんの熱心な対応で現在は、週3回楽しそうに通所してもらっている。しかし最近自宅で本人が自分(夫)に対して被害妄想を持っていて、女がいる(ケアマネジャーの事)、金を盗んだ、薬に何か悪いものを入れている等と言うので、自分も怒ってしまいダメだと思っているが、ついつい暴力を振るってしまい、更に本人(妻)が興奮してしまい、外に出て行こうとしてしまうので、又力で抑えたり、玄関に鍵以外にロープをしていると話があった。			
◆事業所に対する要望・意見 【家族】本人は俺(夫)の事を悪く言っているが、本人の為にと考えて言ったり、してあげているのに、言う事を聞いてくれなく、最近どうしていいかわからないとの発言がある。			
◆要望・意見に対する事業所からの回答 開始し冒頭から、ご家族本人による虐待とも思える話が出た為、司会でもある職員が、家族の話聞き、参加者の皆様にも聞いて頂いた。 利用者(妻)から最近夫が怖い、直ぐに大きな声をだす、薬に、何か入れられている等の話はしていた事は伝える。しかし暴力等の虐待までは聞いていなかった為、認知症もありセンターとしても様子を見ていた。しかし、夫本人から(妻)に対して暴力行為をしたとの事だった為、暴力による問題解決は絶対に出ないと話し、皆で考えて行く事を提案し夫の話を聞く事になった。			
◆地域・行政等からの情報提供 【地域包括支援センター】旦那さんはお疲れになっています、介護は大変なので、少し休んだ方が良いでしょう。奥様のショートステイをご利用されてはとの提案がある。 会議が終了後直ぐに管轄の地域包括支援センター、担当ケアマネジャーに連絡し、妻は2日後緊急ショートステイを利用し、その後、精神病院に入院となった。 【民生委員】話など聞く事はあったが、実際に本人から聞く事で、現在の介護の大変さを目の当たりにしたとお話がありました。			
◆その他・特記事項 今回、資料等を用意して、それに沿って運営会議を行う予定でしたが、ご家族のお話が緊迫し、直ぐに対応しなければいけないと思い、時間の制限もあった為、内容を変更し会議を進めました。その結果ご家族にとっては良い方向にいったと思われます。			

※会議録作成にあたって

・報告書は2ページにわたっても構いませんので、文字は縮小しないでください。